

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>第2種登録チーム数の減少に伴い、登録選手数も3,000人を割り込んでいる。今後、高校数の減少に伴う登録選手数の減少をできるだけ食い止める全体としての働きかけが必要である。</p> <p>第2種年代では、2018年度にアルビレックス新潟U-18がJユースカップでベスト4に進出した。また全国高校サッカー選手権では、2017年度の日本文理高校、2018年度の帝京長岡高校と県勢が2年連続でベスト8に進出するなど少しずつ上位進出という成果を上げてきている。</p> <p>プリンスリーグ北信越には2018年度は新潟県から7チームが参加し、上位2チームが新潟県で、例年北信越では上位に進出している。</p> <p>高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県（通称Nリーグ）は、2018年度現在4部制のN1からN4まで延べ81チームが参加し、拮抗したゲームの増加によるチーム強化及び選手育成、ユース審判員の育成という面で定着及び成果を上げている。残念ながら参加チーム数は減少傾向である。</p> <p>2018年度で22回目を迎えた国際ユースサッカーin新潟の試合運営を第2種委員会が担い、試合運営能力を徐々に高めてきている。観客数も増加傾向にある。また、U-17新潟選抜が参加することで、新潟県の選手たちは年代別日本代表を近い目標として捉えることができている。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>高校の統廃合に伴う登録チームの減少はやむを得ないが、それに伴う登録選手数の減少を食い止め、3,000人以上の登録数を目標とする。</p> <p>第2種年代の全国大会において、決勝に進むチームが出る。</p> <p>プレミアリーグに新潟県から2チームが常に参加していること。</p> <p>プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加していること。</p> <p>高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県（Nリーグ）が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	地区協会 第2種委員会 連盟
<p>登録選手数3,000人を維持する。</p> <p>第2種年代の全国大会において、数年に1回、新潟県のチームが優勝する。</p> <p>プレミアリーグに新潟県から3チームが常に参加していること。</p> <p>プリンスリーグ北信越に新潟県から常に6チーム以上参加していること。</p> <p>高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ新潟県（Nリーグ）が、現在の4部制を維持し、レベルの拮抗した試合を維持する。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					地区協会 第2種委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 普及	登録チーム数 88チーム(維持)	登録チーム数 88チーム (2018年度)	100%	高校の統廃合に伴う高校数減	特になし
2 普及	登録選手数 3,000人	登録選手数 2,936人 (2018年度)	90%	<Nリーグの充実> ・高校が減少する地域における選手確保	・各高校が減少する地域における第3種年代との連携
3 強化	全国優勝のチームが出る	新潟U-18 全日本U-18フットサル帯広長岡高校優勝	100%	<プリンスリーグやNリーグにおける格闘したゲームの増加>	
4 強化	プリンスリーグ北信越に7チーム参加する プレミアリーグに2チーム参加する	2018年度はプリンスリーグ北信越に7チーム参加 2018年度はプレミアリーグに参加するチーム無し	85% 50%	<プリンスリーグやNリーグにおける格闘したゲームの増加> <プリンスリーグやNリーグにおける格闘したゲームの増加>	
5 普及及び強化	Nリーグ4部制を維持する。 Nリーグ参加が90チームとなる。	高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ新潟県(Nリーグ) 参加延べ81チーム	90%	<リーグの充実と昇降格の活性化>	
6 普及及び育成	第2種委員会と開成市町サッカー協会が連携して大会運営を行う。	第22回国際ユースサッカー1 N新潟の開催運営	100%	<より開催市町サッカー協会との連携を深める>	
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

第2種委員会  
連盟  
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1 普及	第2種委員会が	機会を見て	各地区で	存続について	サポートする。
2 普及	第2種委員会が	機会を見て	各チームに対して	部員数を増やす	働きかけをする。
3 強化	各チームが	年間を通して	各チームで	チーム強化の方策を	検討する。
4 強化					
5 普及及び強化	第2種委員会が	Nリーグ実施計画時に		リーグレベルの向上の方策を	検討する。
6 普及及び育成	第2種委員会が			開催地市町と	連携を更に深める。

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です